

| | | | |
|--|--|------|--------|
| クラス | TU301 | 担当教員 | 赤石 憲 昭 |
| テーマ | 「人間とは何か」について多面的に考える | | |
| 著書・論文 研究課題等 | 「ホネットの批判的社会理論の批判性：現代における労働と承認の問題圏」 『情況』（特集：ドイツ現代思想の行方）11・12月号、情況出版、2007年 「希望はテロ」の背後にあるもの：秋葉原事件の承認論的考察」 『リブレーザ』第7号、社会評論社、2008年 「ヘーゲルのジェンダー論をどう読むか？：ヘーゲルの男女観に関する一考察」 木本喜美子・貴堂嘉之編『ジェンダーと社会：男性史・軍隊・セクシュアリティ』旬報社、2010年 「ハーバーマス：コミュニケーションと民主主義」 三崎和志・水野邦彦編『西洋哲学の軌跡：デカルトからネグリまで』晃洋書房、2012年 研究課題：「人間のあるべき姿」の探求（ヘーゲル哲学、批判的社会理論、ジェンダー論 | | |
| ゼミナール概要 | | | |
| キーワード：承認、自己肯定感、善く生きる、自由、民主主義 | | | |
| 私の問題関心 私の専門は、哲学と現代社会論で、「人間が『善く生きる』とはどういうことか」そして「現実の社会でそれを実現するにはどうしたらよいのか」ということが私の根本的な問題関心です。より具体的には、哲学については、哲学概論・哲学（現代人間論）・倫理学概論の授業で、現代社会論については、現代基礎教養Ⅰ・ジェンダー論の授業で扱っていますので、これらのシラバスの内容も見てください。その中でもとくに、哲学（現代人間論）で主題として扱っている「承認」（認めること／認められること）という概念に、個人的に注目しています。「承認」は、子どもはもちろん大人も含めて、人間が人間らしく生きていく上で欠かせないものです。この「承認」を一つの主要な切り口として、人間らしい発達のあり方および人間らしい生き方について、人間それ自体だけでなく、社会や国家との関係をも視野に入れながら、総合的な探求を試みるのが私の立場です。 | | | |
| あなたの学習とどう関わるか 「承認」の問題や哲学の議論は、一般教養としてだけではなく、人間について考える上では切り離すことができない問題であり、みなさんがどのような研究テーマを扱う場合にも必ず顔を出してくるものです。また、現在、社会が抱えている諸問題を考える上では、様々な場面で価値観の根本的な捉え直しや多面的な視野が必要となっており、「人間とは何か」を追求する哲学的な物の見方・考え方はますます重要になってきています。自分のテーマを研究していく上で、このような哲学的観点や社会的観点も取り入れながら、自分の考えをさらに深めていってください。 | | | |
| 目的 文献を読み、まとめ、発表し、質疑応答をし、議論をし、卒業論文を作成するという過程を経ながら、大学生が身につけるべき基本技能を身につけるとともに、各自が自ら選んだ研究テーマについて考察を進めていく中で、子どもや人間に関する洞察を深め、将来の職業活動に役立てられるようにすることが本演習の目的です。 | | | |
| 内容 大きく括れば「人間とは何かについて多面的に考える」ということになりますが、各自が自由にテーマを選び、それぞれが勉強を進めていくこととなりますので、予め決められた内容というものはありません。現在のゼミ生の研究テーマは、「子どもの自己肯定感を高める保育」、「子どもの幸福」、「教師の保護者対応」、「子どもへの言葉がけ」、「沖縄の保育問題」、「自己愛」です。まあ、何でもありですね（笑） | | | |
| 方法・授業計画 共通文献あるいは各自の関心のある文献を読み、まとめ、発表し、質疑応答をし、議論をする、というのが基本的な演習の進め方です。3年では、まずは共通文献の読解からはじめて、とくにすべての基礎となる「本の読み方・まとめ方」をしっかり身につけてもらいます。その後は、各自が興味を持った文献について、それぞれ自分で内容をまとめ、発表してもらいます。4年でも、卒業論文に関わる文献の発表が基本となりますが、文章の書き方まで含めて丁寧に指導します。それ以外の施設見学等の活動については、適宜、提案してください。上記の内容も含めて、進め方等については、参加者の意向も確認にした上で、最終的に決定します。 | | | |
| 担当教員からのメッセージ | | | |
| 大学3・4年は、勉強の基本的技能や、幅広い教養を身につけることができる最後の機会になるかもしれません。この演習では、私が担当する全授業科目（哲学概論、哲学（現代人間論）、倫理学概論、現代基礎教養、ジェンダー論、総合演習、子ども発達学）の知を集約し、必要な場合には新たに補いながら、勉強の方法も含めてあなたの研究および卒業論文作成のサポートをします。なお、それぞれのつきたい職業に関する専門的な事柄については、きちんとわかる専門の先生や友だちとも密に連絡を取り、各自で情報収集し、勉強をしてください。 | | | |